

視聴覚教育

No.

75

発行

第1巻

岡崎市AVL

編集

広報委員会

一学期をむかえて

現職教育視聴覚副部長 大塚 鑑治

視聴覚教育各種の研修会や市民大学講座で研修できたことは、

誠に有益であった。諸先生治先生の「暮らしの中のコンピュータ」コンピュータは小さいものはマイコンから大きな機械まで多くの種類がある。いずれもLSIの電子回路技術の革新によって、急速な発達をしていることや、あらゆる数字や文字を0と1の数字の組合せで表す二進法に基く原理であること、またコンピュータを使うときコンピュータと話ができる言葉と、その言葉で綴った命令文、即ちソフトウェアが必要である。これらのソフトウェアを作るのは人間であることの講義から八十年代の電子回路技術の革新によるエレクトロニクスの時代は急速に進展するのではなからうか。

これらの機器によって人類が動かされるようになることは、恐

しさを感ずるわけであるが、これらは総て人間の手によって立案されている限り人間関係は阻害されないうち思うと同時に、阻害されないよう機器の装置、原理、有効的な利用を体得するように努力したいものである。

これに伴って教育現場も、否応なしに新しい教育機器の登場が予測され、教育課程の改善や視聴覚教育、教育工学の分野が忙しくなると思う。L・Lシステムへアライザーを含むの授業研究も着々と実践されていますが、現代教師は余所見や余所目(よこみよこめ)で過ごすことはできないと思う。

L・Lの更新とアライザー新設

——放送プログラム装置も三年間で全校へ——

十年間中学校英語の授業で効果をあげてきたL装置の更新が今年度からアライザーの新設とあわせて実施されている。

更新されるL装置は、フルボ方式、新設されるアライザー(反応分析装置)は、個別回答記録の分析もできる立派なものである。今年度の設置は、甲山・美川・竜海・河合・矢作北中学校の五校である。

また、校内放送プログラム装置では、男川・六名・愛宕・生平・常東・恵田・奥殿・細川・大樹寺・矢北・矢崎・六南・城南小学校、南・葵・福田・東屋・六ツ美中学校の十八校に設置される。

実践に生かそう

夏季 実践 講習会 の 成果

十六ミリ映写技術者養成講習会には140名(学校関係74名、社教関係66名)、VTR講習会には71名、校内放送講習会には、児童、生徒、教師等40名の多数の参加者があった。「この成果を、さっそく、二学期の授業で生かしていこう」という声に大いに期待したい。

VTR

講習会に参加して

塚中 白井 秀美

講習会二日目、皆で苦労して作りあげた作品が、モニターテレビの画面に映し出される。ちょっと感動的な気持ちになりました。

途中の録画撮りでは、小さなミスもありましたが、講師の先生が、「それは愛嬌」といって励ましてくださいましたので、自分達としては、まずまずの作品となり、ほっとすると同時に嬉しくなりました。

おかげで、メカにはまるで弱い私ですが、少し自信めいたものが得られたような気がします。これから、実際の教育の場での活用して、効果を上げられるかが私の課題です。



AV三二情報

【レンズの明るさ】

よくレンズには1:14とか1:2と表示してありますが、この数字は何を意味するのでしょうか。

この場合の1は人間の目の明るさです。1と14の違いは $\frac{1}{12}$ と $\frac{1}{16}$ の比較になります。これは1:1/2で1/2の明るさということです。表示の数はこの分母の平方根の値です。

その序列は

1 1.4 2 2.8 4 5.6 8 11
 $\sqrt{1}$ $\sqrt{2}$ $\sqrt{4}$ $\sqrt{8}$ $\sqrt{16}$ $\sqrt{32}$ $\sqrt{64}$ $\sqrt{128}$ です。

配達開始は9月14日(月)からです。

ライブラリー だより

【自作テープの作品賞募集】

本年度の自作テープ作品を募集しています。ふるって応募ください。お待ちしております。

●規定 (1) 一時間もしくは小単元の授業で使用する作品であること。

(2) 教材、領域は問わない。

(3) 未発表の創作であること。一人一点でテープ枚数は制限しない。

(4) 手書きに複写法を加えてもよい。

●対象 市内小中学校に勤務するもの

●締切 九月三十日、祝祭日ライブラリーハ・賞多教。